

24

筑波研究学園専門学校 2年

本谷 勇真 中野 茉耶 沖 彩葉

佐藤 琴乃 岡崎 真奈

歩崎公園の再開発～身近に感じる水質汚染～



# 歩崎公園の再開発

## ～身近に感じる水質汚染～



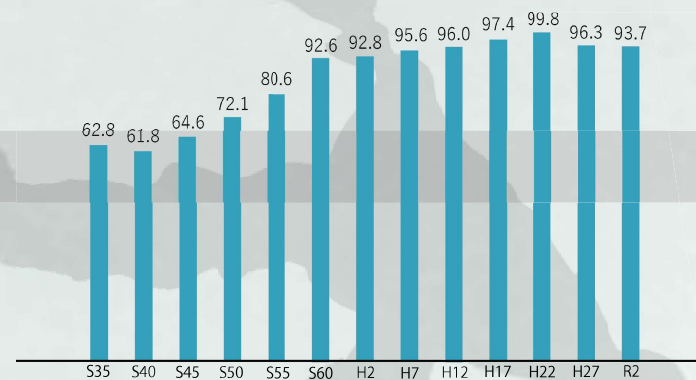
# 霞ヶ浦について

昭和30年代頃までは湖水浴場があり、泳げるほど綺麗な水でしたが、昭和40年代後半になり流域による人口増加や生活様式の多様化、産業活動の進展などに伴う、水質汚染が進行しました。このままでは霞ヶ浦を水源とする水道水が飲めなくなってしまうたり、ここで獲れる魚が食べられなくなってしまうです。

現在、水質汚染が深刻な問題となっています。



湖水浴場ができるほど綺麗な霞ヶ浦



人口増加による生活排水や工業廃水による汚染が進行

水質汚染に対して一人ひとりが危機感を持ち、

霞ヶ浦を大切にしなければなりません。

霞ヶ浦を身近に感じることができる場所での**体験**が必要です。

そのためには、

歴史を学び、生物に触れ食べることで私たちへの

**恩恵**を学び、

生態系を知ることで霞ヶ浦の

**現状**に気が付きます。

歴史を学ぶことで今と昔の水質の違いを**比較**させ、

**一人ひとりが行動を見直すきっかけを生み出します。**



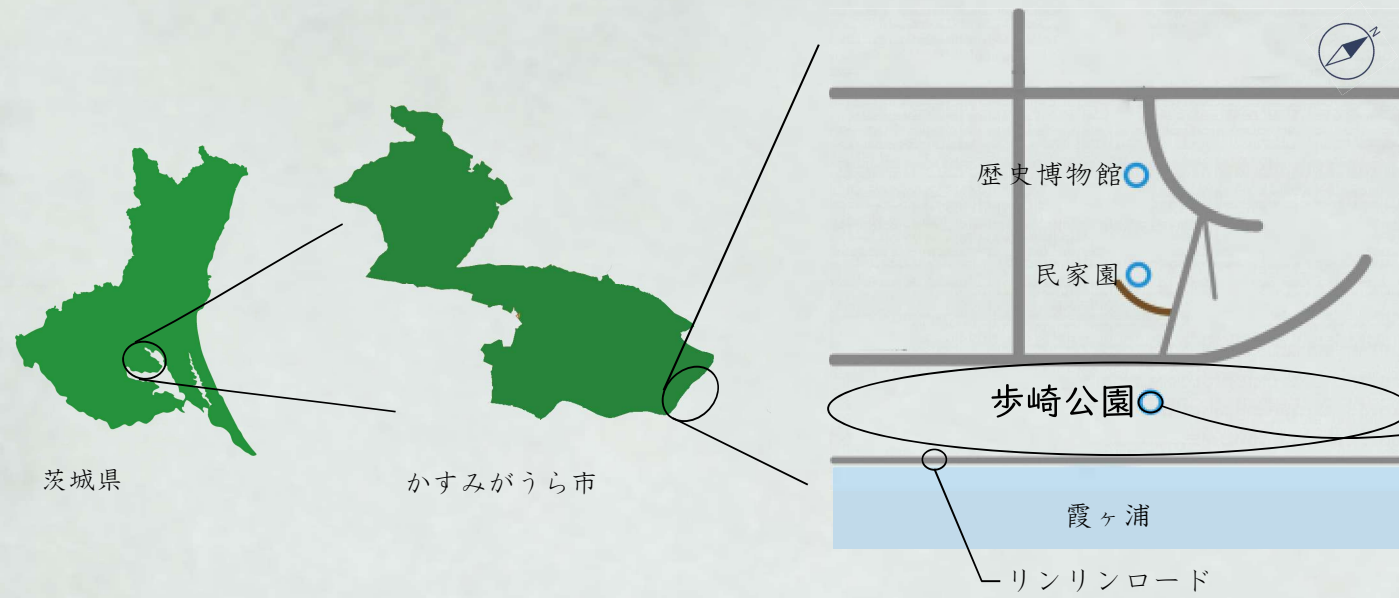
水生生物の大量死、異臭による生活への影響





# 歩崎公園とは

かすみがうら市南東部に位置しており、水郷筑波国定公園の中でも有数の景勝地で、公園内には歴史博物館や水族館、民家園などがあるとともに、丘陵地に森林公園や湖岸園地が整備されています。つくばリンリンロードの休憩地点にもなっており、サイクリング愛好家が休憩に訪れます。



現在の歩崎公園内の様子



駐車場



アクアラピリンズ



かすみキッチン



かすみがうら市水族館

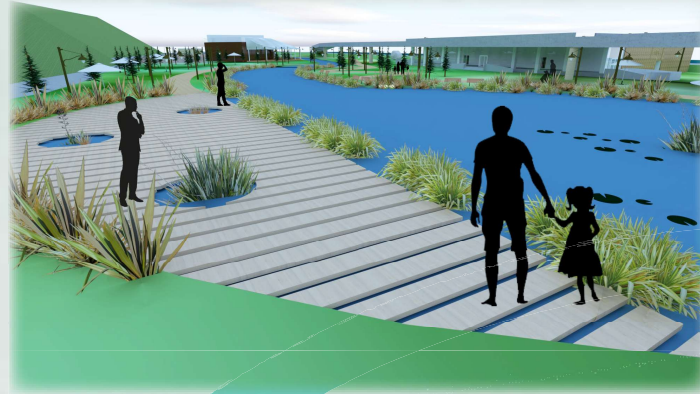


しかし、  
来園者が少なく、手付かずの状態になっている  
場所や一部老朽化した建物があり、  
くたびれた雰囲気が漂うもったいない状態です。

今のままでは水質汚染の  
**悍ましさを**伝えることはできません。



# 配置計画



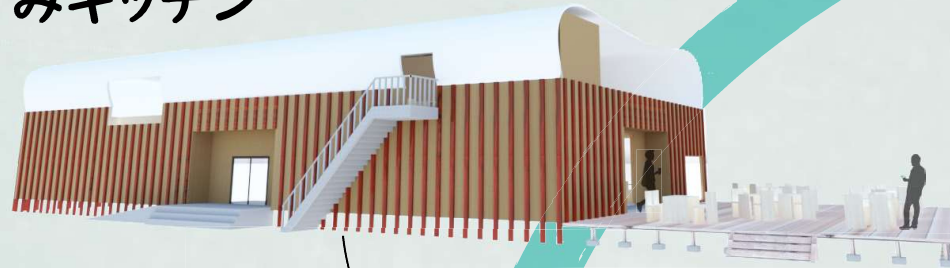
## ビオトープ

霞ヶ浦の本来の水質、生態系を再現し、本物の霞ヶ浦と水の色や臭いを比較的に観察させる狙いがあります。ビオトープにはタナゴやメダカなど、地域絶滅が危惧される在来生物が自然繁殖し、見たり触れることで在来生物保護への関心を高めます。

## かすみアクアリウム



## かすみキッチン



67 台の自動車と 60 台の自転車を収容することができます。レンタル用の自転車を置く倉庫があり、シャワー室も完備しています。

100 台の自動車と 50 台の自転車を収容でき、霞ヶ浦側の道路と駐車場間のアクセスが楽になりました。

リンリンロード

霞ヶ浦

## 空中回廊

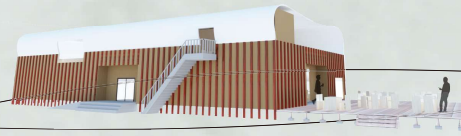
地上 4m に計画し入るときのワクワク感や思わず入ってみたいと思わせる狙いがあります。空中回廊から霞ヶ浦とビオトープを同時に見ることができ、学びの空間として幅が広がります。

## かすみヒストリー





# レストラン 「かすみキッチン」



## コンセプト

これまでのかすみキッチンの雰囲気を残しつつ、歩崎公園に溶け込ませ、さらに使いやすく居心地の良いレストランを計画しました。霞ヶ浦の関連する食材で作られた料理を食べてもらうことで、霞ヶ浦からの恩恵を伝えます。地域でとれた食材や料理を地産地消する、地域に寄り添ったレストランになります。



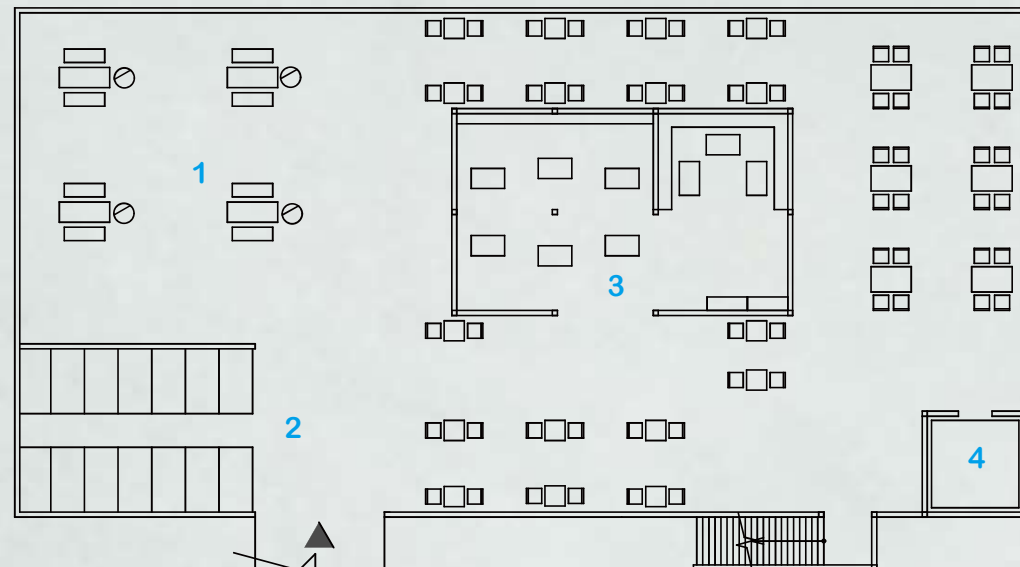
## 〇1階飲食スペース

霞ヶ浦周辺で収穫した食材で作られた料理を味わえます。



## 〇屋上テラス

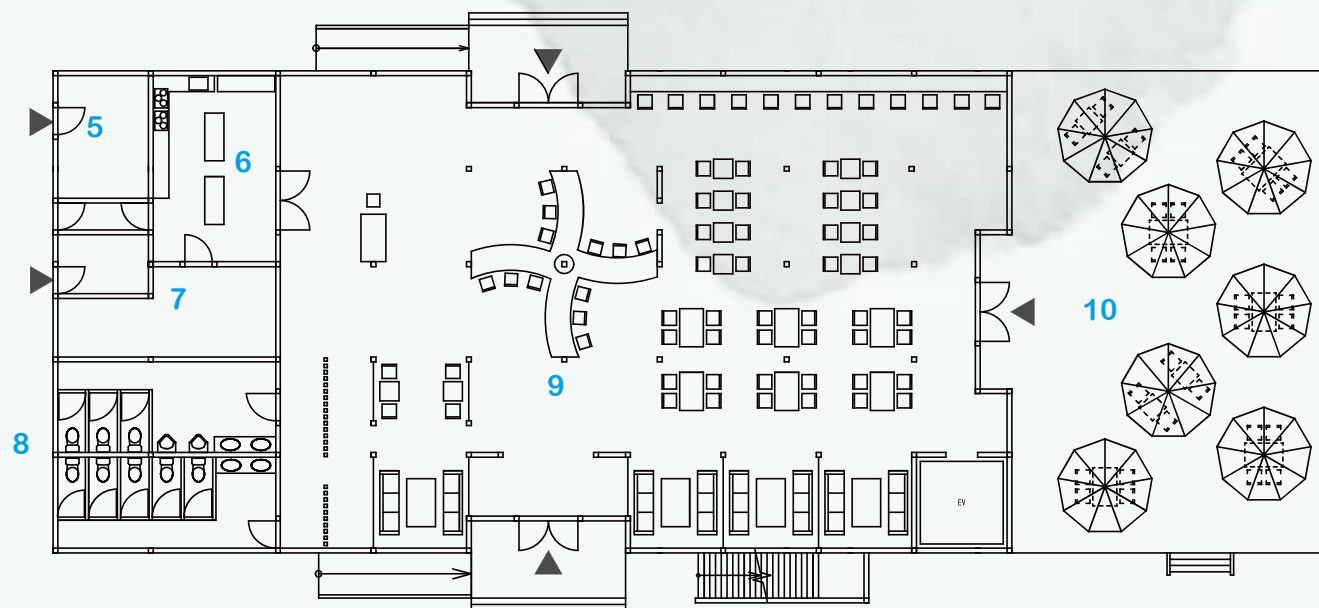
駐輪スペースがあり、その奥にはバーベキュー台があります。



- 1: バーベキュースペース
- 2: 駐輪スペース
- 3: 物販エリア
- 4: エレベーター

2F 平面図

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 概    | 要                     |
| 構    | 造                     |
| 階    | 数                     |
| 建築面積 | 442.22 m <sup>2</sup> |
| 延べ面積 | 876.50 m <sup>2</sup> |



- 5: 冷蔵室
- 6: 厨房
- 7: 事務所
- 8: トイレ
- 9: 飲食スペース
- 10: ウッドデッキ

1F 平面図



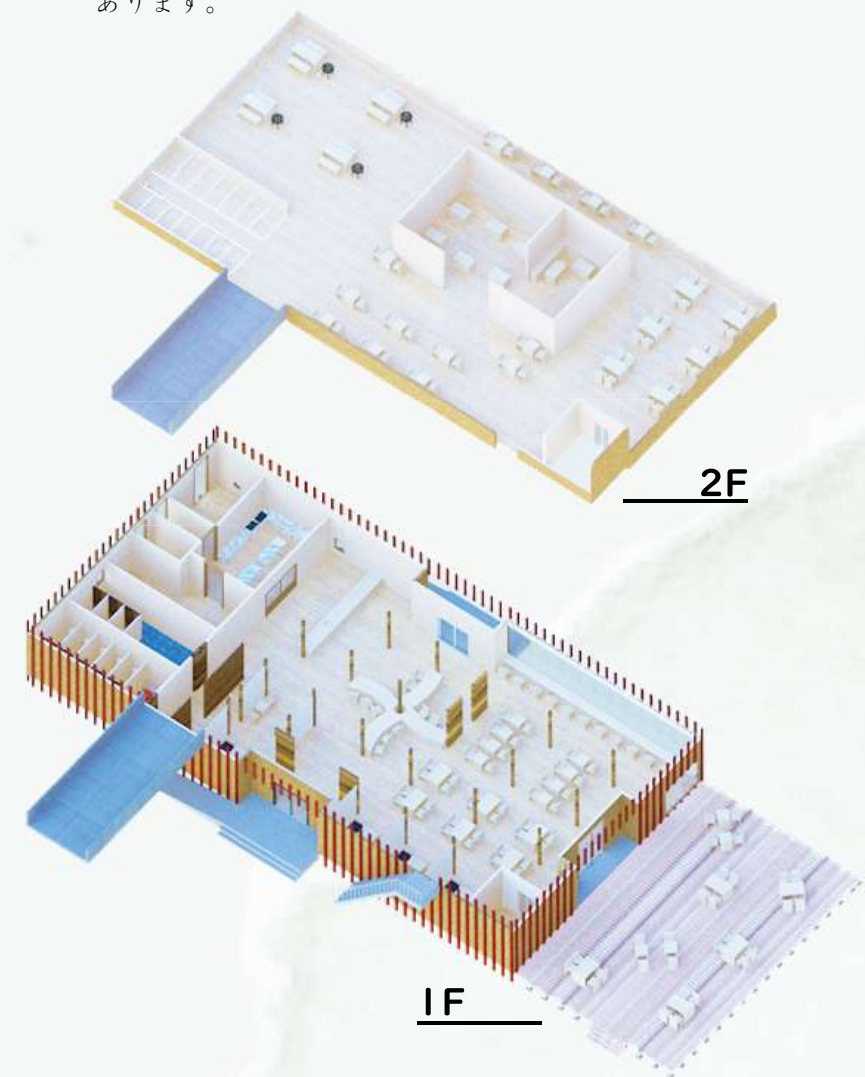
## 〇物販スペース

地域の特産品を販売します。



## 〇ウッドデッキ

ビオトープや園内の様子を眺めながら食事をすることができます。

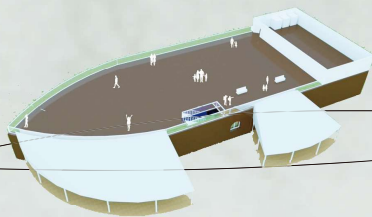


2F

1F

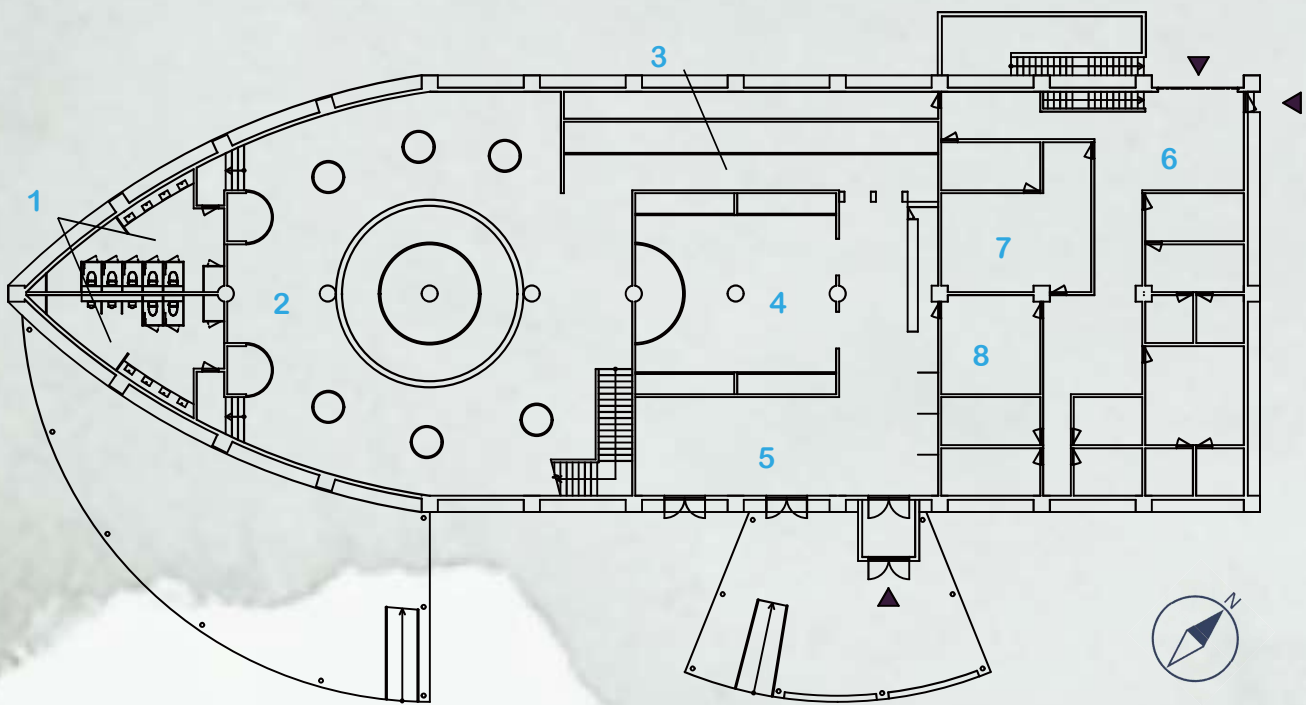


# 水族館 「かすみアクアリウム」



## コンセプト

現在のかすみがうら市水族館には建物の内外両方において、水族館らしい雰囲気がなく、学びの空間としても物足りさが見受けられます。そこで本格的な水族館と霞ヶ浦水系への学びを融合させた計画とし、歩崎公園の集客の軸となります。



1F 平面図

- 1: トイレ

2: 霞ヶ浦・海展示ゾーン

3: 霞ヶ浦・利根川展示ゾーン

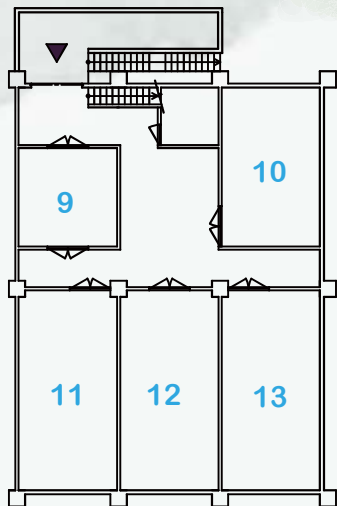
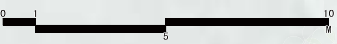
4: 霞ヶ浦研究コーナー

5: 物販・無料開放エリア

6: バックヤード

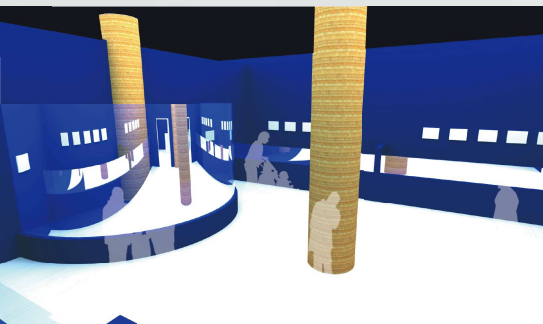
7: 備蓄水槽

8: 事務所



BF 平面図

| 概要   |           |        |
|------|-----------|--------|
| 構造   | RC 造      |        |
| 階数   | 地上 1 階    | 地下 1 階 |
| 建築面積 | 1090.06 ㎡ |        |
| 延べ面積 | 1390.06 ㎡ |        |



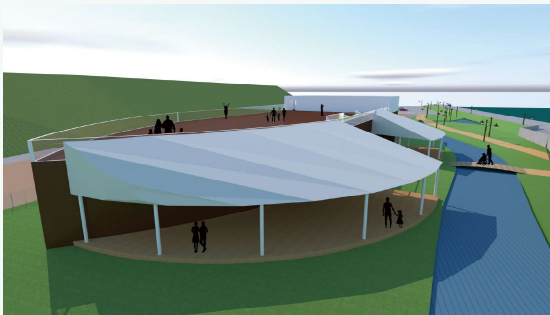
## ○霞ヶ浦研究コーナー

霞ヶ浦の水生物についての研究資料や水槽を配置することで、霞ヶ浦に住む生態系の昔と水質汚染による現状を学ぶことができます。



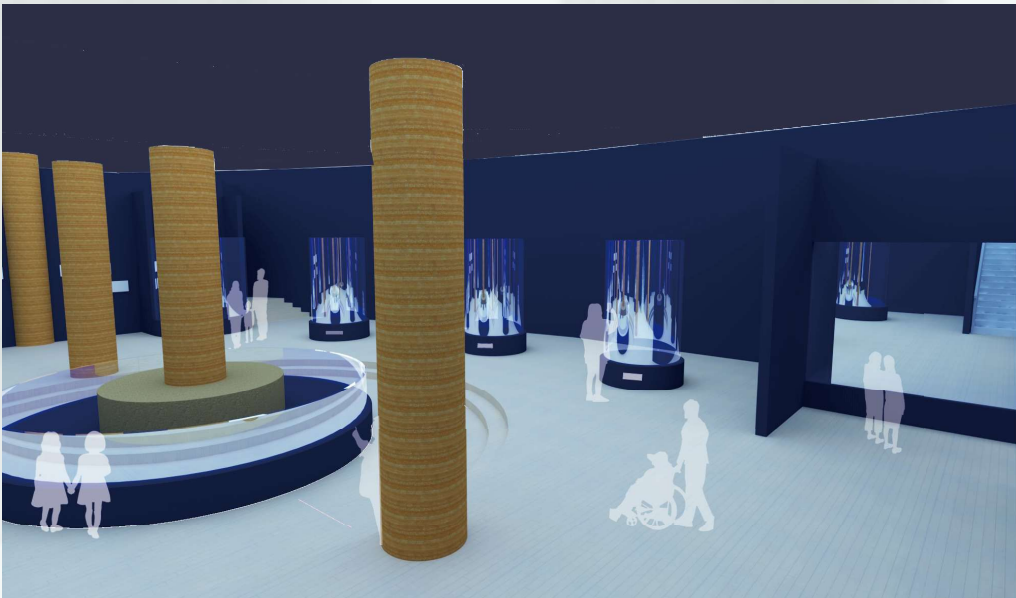
## ○横長水槽

霞ヶ浦と利根川を行き来する魚と、目線を合わせて観察させ人も魚も同じ生き物だと伝えます。



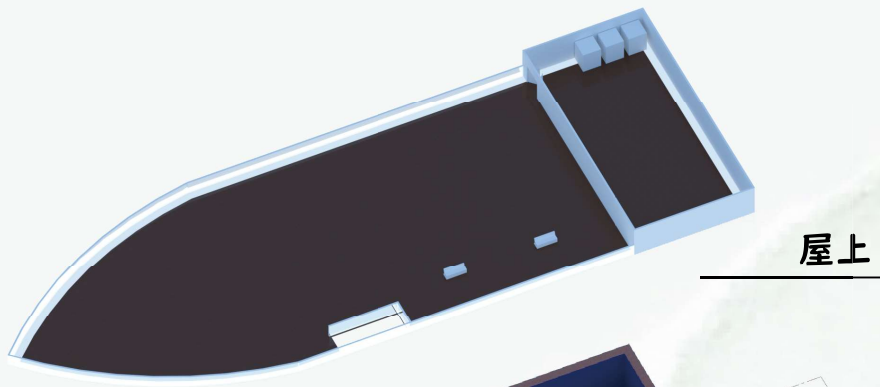
## ○ふれあいスペース

天幕が帆引き船で、漁をする際の網を表しています。

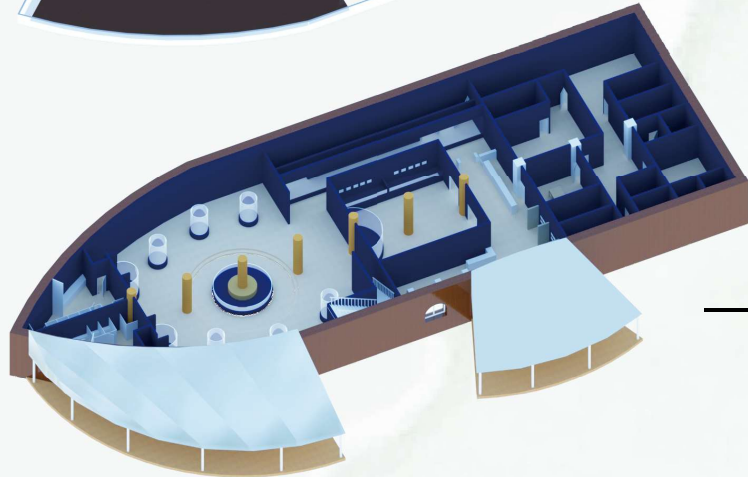


## ○ジオラマ水槽

「小さな霞ヶ浦」として、歩崎のジオラマと、綺麗な水の中を泳ぐ魚を見ることで、本物の霞ヶ浦と比較させ、水質汚染の悍ましさを伝えます。



屋上



IF

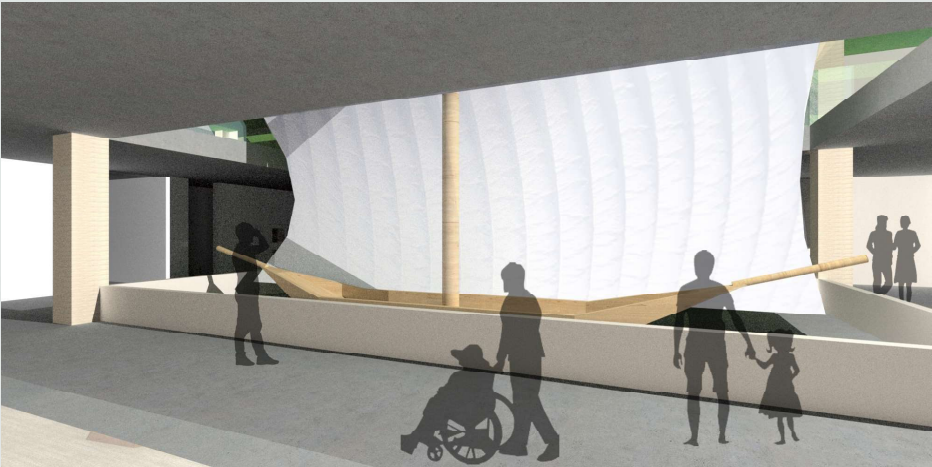


# 歴史博物館 「かすみヒストリー」



## コンセプト

現在、歩崎公園には霞ヶ浦の歴史を学ぶことができる歴史博物館があります。しかし、その存在が知られておらず、また立地が悪いため公園来園者のおよそ半分も来館していません。そこで、かすみヒストリーを歩崎公園の新たな顔として計画し、来園者と霞ヶ浦とその歴史を保存、継承していきます。

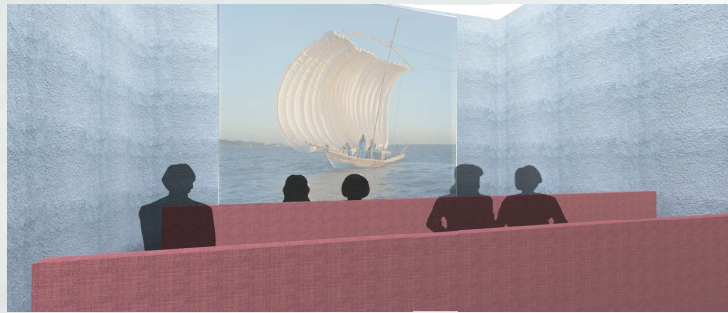


## ○地下 1 階物づくりコーナー

記憶をモノとして残すことができます。

## ○帆引き船の縮小模型

地階から1階の吹き抜けには、帆引き船の縮小模型が展示されています。かすみヒストリーの主役として来館者に強い印象を与えます。



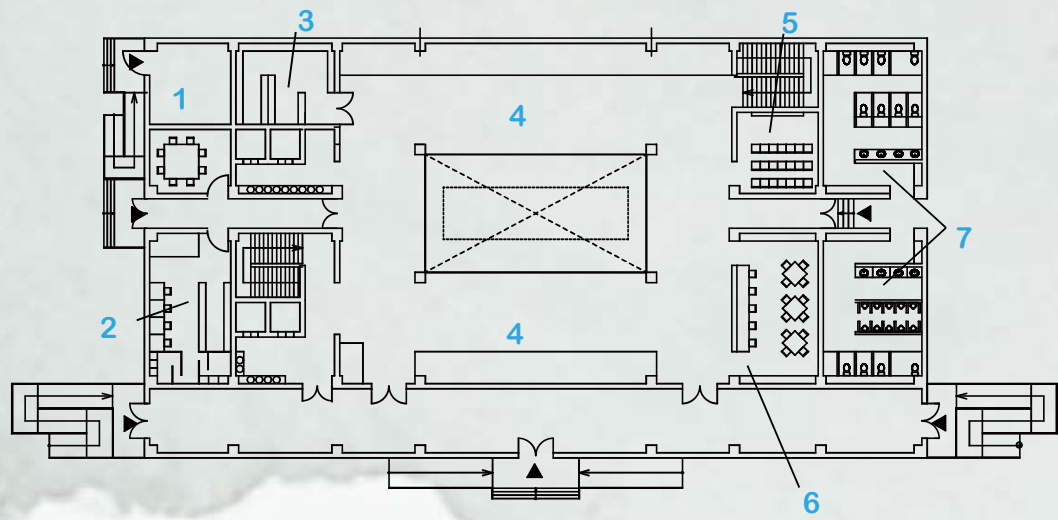
## ○映像コーナー

霞ヶ浦や歴史について、模型や資料だけでなく動画で学ぶことができるためより学びが深まります。



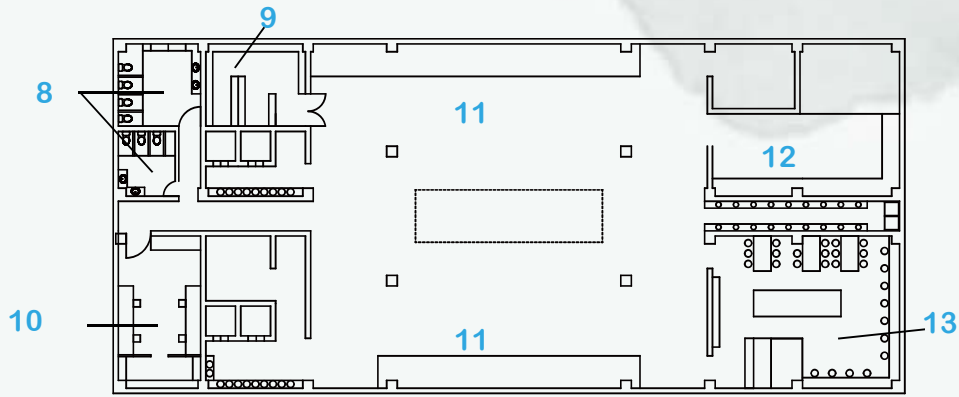
## ○屋上

空中回廊とつながっており、芝生を敷いています。裸足になって寝そべることもでき、親水空間を五感で感じられます。



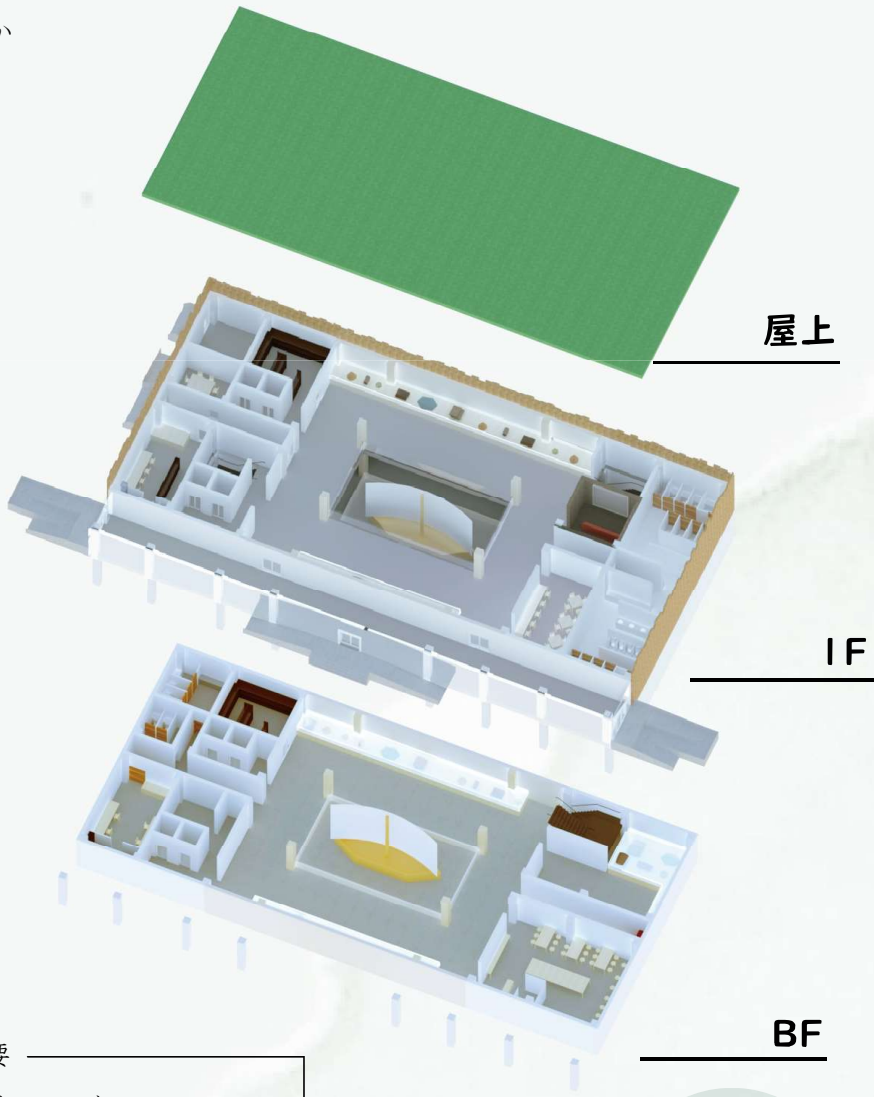
1F 平面図

- 1: 設備室
- 2: 事務室
- 3: 倉庫
- 4: 展示スペース
- 5: 映像コーナー
- 6: 学習コーナー
- 7: トイレ



BF 平面図

- 8: トイレ
- 9: 倉庫
- 10: 研究室
- 11: 展示スペース
- 12: 椎名家住宅
- 13: 物づくりコーナー



| 概要   |                     |
|------|---------------------|
| 構造   | RC 造                |
| 階数   | 地上 1 階地下 1 階        |
| 建築面積 | 1080 m <sup>2</sup> |
| 延べ面積 | 1980 m <sup>2</sup> |





一人ひとりが歩崎公園での経験をもとに、自ら考え小さな努力を継続、継承させていくことで霞ヶ浦を美しい姿へ戻せると考えます。新たな歩崎公園がそのきっかけとなる場所になります。